

大阪経済法科大学校友会会則

第1章 総則

(名称)
第1条 本会は、大阪経済法科大学校友会と称する。

(目的)
第2条 本会は、会員相互の親睦と連携を深め、あわせて大阪経済法科大学の発展に寄与することを目的とする。

(事業)
第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(1) 会員名簿の発行
(2) 会報の発行
(3) その他必要と認める事業

(本部)
第4条 本会は、大阪経済法科大学内に本部を置く。

第2章 会員及び会費

(会員)
第5条 本会は、次の会員で組織する。

- (1) 正会員
① 大阪経済法科大学を卒業した者
② 大阪経済法科大学に在学した者で、本会に入会の意思があり、幹事会で承認を得た者
(2) 特別会員
① 学校法人大阪経済法律学園の役員及び評議員
② 大阪経済法科大学の教職員及び退職教職員
③ その他、幹事会で承認を得た者
(3) 準会員
① 大阪経済法科大学に在学する者

(除名)
第6条 会員が、本会の名誉を毀損し、又は本会の目的に反する行為をしたときは、幹事会の決議により除名できる。

(会費)
第7条 本会の会費は、別に定める。

第3章 役員

(役員)
第8条 本会には、次の役員を置く。
(1) 会長1名
(2) 副会長4名
(3) 常任幹事若干名

(4) 幹事50名以内
(5) 会計監査2名
(6) 顧問若干名
(選出)
第9条 役員の出選方法は、別に定める。

(職務)
第10条 役員は、次の職務を行うものとする。
(1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその会務を代行する。
(3) 常任幹事は、会長及び副会長を補佐し、各事業の企画立案を行う。
(4) 幹事は、幹事会を構成し、会務を処理する。
(5) 会計監査は、会計及び収支決算を監査する。ただし、他の役員を兼務できない。
(6) 顧問は、重要事項について会長の諮問に応じて意見を述べることができる。

(任期)
第11条 役員は任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第4章 総会

(総会)
第12条 総会は、毎年1回開催する。ただし、幹事会において必要と認めるときは、臨時に総会を開くことができる。

(報告事項)
第13条 総会に、次の事項を報告し、意見を求めるものとする。
(1) 会則改正
(2) 事業計画及び予算
(3) 事業報告及び決算
(4) 役員の出選
(5) その他会長が必要と認めた事項
2. 総会における意見は、必要に応じて幹事会で審議し、その結果を会員に報告するものとする。

第5章 幹事会

(構成)
第14条 幹事会の構成は、会長、副会長、常任幹

事及び幹事をもって組織し、会長が議長となる。

(招集)
第15条 幹事会の招集は、会長が行う。

(審議事項)
第16条 幹事会は、次の事項を審議・決定する。
(1) 会則の改正に関する事項
(2) 事業計画案及び予算案に関する事項
(3) 事業報告案及び決算案に関する事項
(4) 役員の出選に関する事項
(5) その他会務の処理に関する事項

(定足数)
第17条 幹事会の成立は、構成員の3分の2以上の出席(委任状によるものを含む。)をもって成立する。

(議決)
第18条 議事の議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決すところによる。ただし、会則の変更は、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

第6章 会計及び監査

(経費)
第19条 本会の経費は、会費及び寄付金その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)
第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(決算)
第21条 会計監査は、監査の結果を幹事会に報告するものとする。

第7章 支部

(支部)
第22条 本会に、支部を設置することができる。
2. 地域又は職種において支部を置く場合は、幹事会の承認を得るものとし、総会に報告しなければならない。

附則
この会則は、1999年6月26日から実施する。

附則
この会則は、2013年3月23日から実施する。

校友会報

大阪経済法科大学
OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW

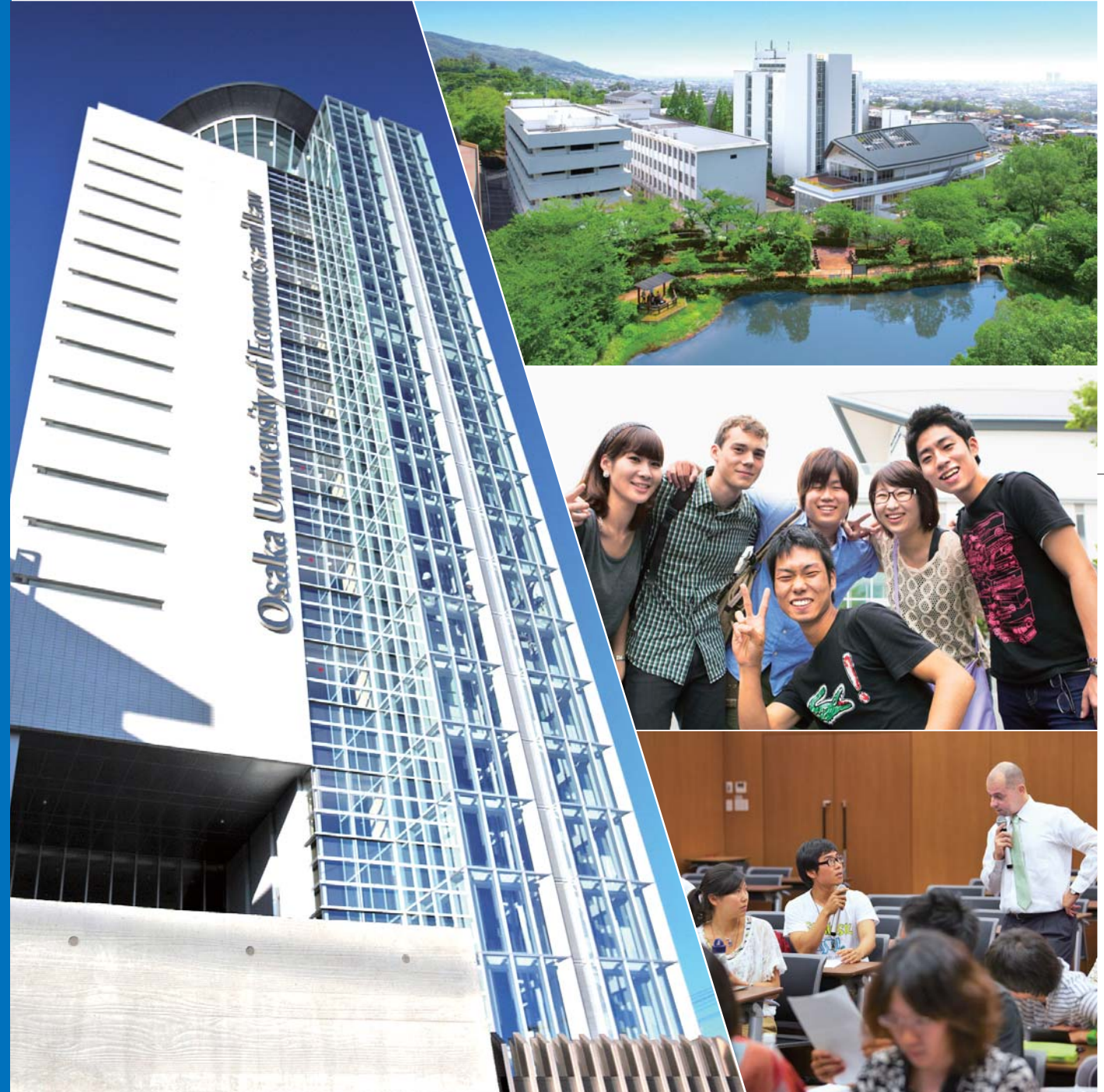
vol.18

2013年9月1日発行

www.keiho-u.ac.jp/kouyuukai/

校友会報

vol.18



大阪経済法科大学校友会

Contents

- 02 2013年度第15回大阪経済法科大学校友会総会・懇親会
- 03 2013年度第8期大阪経済法科大学校友会役員紹介
- 04 活躍する卒業生
岡 芳紀(経済学部11期生) / 山崎太一郎(経済学部18期生)

- 08 母校の近況報告
- 12 支部活動報告(支部長メッセージ)
- 14 2013年度事業計画・2012年度事業報告
- 16 事務局からのお知らせ

- 校** Q1: 校友会費20,000円を納めたかどうか知りたいのですが?
A1: 下記校友会事務局まで、電話又はFAX、e-mailでお問い合わせください。また、校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費となっています。一度会費を納めていただいている場合は、会費納入の必要はありません。
※注意 2001年以降に入学された方(編入生を除く)については、在学中に校友会費を委託徴収しておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学された編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額1万円を納入する必要があります。
- 友** Q2: 卒業証明書・成績証明書を発行してほしいのですが?
A2: 卒業証明書・成績証明書の発行を希望される場合は、郵送(教務課宛)又は教務課窓口にてお申し込みいただくことができます(電話やFAX、メールでの申し込みはできません)。詳しくは、大学ホームページ「各種申請書・願・届」をご参照ください。
URL <http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/sheet/certificate.html>
※個人情報保護の観点から、証明書の発行には、本人確認をさせていただきます。
- 会** Q3: 「東京麻布台セミナーハウス」「琵琶湖セミナーハウス」「阪南キャンパス」など、大学の所有する施設を利用できますか?
A3: 校友会費を納めていただいている会員については、大学の行事、学生の課外活動等を優先の上で、日程が空いていれば利用することができます(有料)。

- 事** ●不審な問合せにご注意ください!
最近、他大学の同窓会組織で、大学名や校友会(同窓会)などの名を騙り、電話やハガキで卒業生名簿作成と偽り、個人情報を探ってくるケースが頻りに発生しております。また、何らかの方法で同窓会名簿を入手し、営業などに利用しているという事例も報告されています。このような問合せには、発信元の住所や連絡先を確認した上で、慎重に対応してください。
大阪経済法科大学校友会は、現在、名簿を出版する事実(予定)もなく、特定の業者を推薦、斡旋することはありませんので、ご注意ください。
- 卒業生の情報をご提供ください!
大阪経済法科大学は、一昨年創立40周年を迎え、これまで約4万人もの卒業生を社会に送り出してきました。本学を卒業された校友の皆様は、地方自治体の首長をはじめ法曹界、産業界、経営者、アーティストなど、あらゆる方面で活躍されております。
校友会のホームページでは、このように社会で活躍する卒業生の情報を積極的に発信していきたいと考えています。先輩や後輩、テレビや新聞などで本学卒業生の活躍をご存じの方は、是非情報をご提供ください。皆さんで、活躍する卒業生と一緒に応援しましょう!

2013年度第15回大阪経済法科大学校友会総会・懇親会



全国の校友の皆さんこんにちは。平素は校友会事業に関しまして、多大なご理解ご支援をいただき誠に有難うございます。

今年も本学卒業生が一同に集まる校友会総会・懇親会の季節がやってまいりました。開校から41年が経ち、多くの卒業生を輩出してきた母校ですが、ここ最近めまぐるしく変革が続いています。校友会総会・懇親会におきましても一昨年実施しました花岡キャンパス学生ホール棟「クロノス」に続き、昨年は八尾駅前キャンパス「オーバル」と、新たな歩みを踏み出した母校の象徴的な施設で開催してきました。

そして、今回の総会・懇親会は、シェラトン都ホテル大阪にて開催することとなりました。

私自身、校友会活動を通じ多くの方々と接し、多くの事を学び、利害関係のない良きお付き合いの出来る方々と知り合うことが出来ました。これらは私にとって大きな財産だと思っています。「行動しないですじっとしているのも一日、参加して何かを感じたり新しい出会いがあるのも同じ一日」です。

是非多くの方に総会・懇親会にご参加いただき、学生時代に戻り楽しい時間を共有できれば幸甚です。また、毎年家族の方の参加も増えていますので、気軽にご参加いただければと存じます。

一人でも多くの校友の皆様方とお目にかかれましてを心よりお祈りいたしております。

北垣 義弘 実行委員長
(校友会副会長・経済学部7期生)

第15回校友会総会・懇親会概要

日時：2013年10月5日(土)
(総会)16時～(受付15時～)
(懇親会)17時30分～

会場：シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」

会費：5,000円(懇親会) ※2012年度卒業生は無料

内容：(総会)校友会事業報告及び校友会事業計画、各地域支部の活動報告、活動計画、母校の近況報告などが行われます。
(懇親会)美味しい食事に舌鼓を打ちながら、在学生による企画や素敵な景品が当たる抽選会など、様々な企画を予定しています。



ACCESS

シェラトン都ホテル大阪

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-1-55
(近鉄電車 大阪上本町駅 直結)
TEL 06-6773-1111(代表)



JR・地下鉄新大阪駅より

●地下鉄「御堂筋線」なんば駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車(約30分)

●地下鉄「御堂筋線」なんば駅で地下鉄「千日前線」に乗り換え。谷町九丁目駅下車

JR大阪駅・地下鉄梅田駅・東梅田駅より

●JR「大阪環状線」鶴橋駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車(約20分)

●地下鉄「谷町線」東梅田駅にご乗車の上、谷町九丁目駅下車(約15分)

阪神三宮駅より

「阪神なんば線」から近鉄線直通、大阪上本町駅下車(約50分)

2013年度第8期大阪経済法科大学校友会役員紹介

2013年3月23日開催の2012年度第2回(通算第59回)校友会幹事会において、2013年度第8期大阪経済法科大学校友会役員改選について審議が行われ、以下のとおり、承認されました。

第8期役員は、2013年4月1日～2015年3月31日(2年間)までとなっており、今後、校友会事業計画に則り、活動を展開してまいります。

■第8期大阪経済法科大学校友会役員

顧問	藤本和貴夫 学長		
会長	伴井 敬司 1期生		
副会長	正会員	八瀬林 肇 6期生	北垣 義弘 7期生
	特別会員	能塚 正義 副学長/ キャリア支援部長	
常任幹事	正会員	小橋 光生 1期生/高知支部長	安田 公治 2期生
	正会員	前吉 克明 8期生	中村 和義 9期生
	正会員	中津 広志 13期生	澁田 博之 20期生
	特別会員	石山 陽浩 25期生	山内 綾 29期生
	特別会員	佐藤 雅美 学長補佐/学生部長	山中 雅登 事務局長
	特別会員	西澤十三夫 キャリア支援課参事兼主幹	丸井 龍夫 OB職員
幹事	正会員	中須 秀治 1期生/三重支部長	栴田 博昭 3期生/広島支部長
	正会員	勝部 恒夫 5期生	石塚 央 6期生/香川支部長
	正会員	宮松 久浩 9期生/東京支部長	山下 浩希 10期生/石川支部長
	正会員	濱田 剛史 13期生	新里 靖 14期生/沖縄支部長
	正会員	宮本 英浩 17期生	江川 充彦 17期生
	特別会員	矢野 正憲 21期生	小林 保重 22期生
	特別会員	吉田 隆顕 31期生	富山源太郎 32期生
	特別会員	李 雅光 33期生	岡本香菜子 35期生
	特別会員	梁 官洙 経済学部教授	白井 諭 法学部講師
	特別会員	安東 浩俊 会計課長	金城 栄昌 キャリア支援課
会計監査	特別会員	高岡 幸一 OB職員	勝 英雄 教養部教授
	特別会員	鍛冶屋佳美 5期生	橋本 久 OB教員

◇新役員メッセージ◇



北垣 義弘 副会長
(経済学部7期生)

新しく副会長に任命されました北垣です。正直なところ実感はありませんし、何も変わるところはありませんが、より多くの人が集う風通しの良い校友会にするお手伝いをしたいと思います。10月の総会・懇親会、11月の経法祭で多くの校友の方とお会いするのを楽しみにしています。



三戸 泰樹 副会長
(経済学部20期生)

この4月から、副会長という大役を任されることになりました三戸です。これまで常任幹事として経法祭など様々な取り組みに参加させていただきましたが、今後、校友会のさらなる発展並びに学生支援の向上を図ることができるよう、全力で校友会事業に取り組んでいく所存です。



石山 陽浩 常任幹事
(経済学部25期生)

この度、校友会常任幹事に就任しました石山です。これまでの幹事としての経験を生かし、常任幹事として今後も多くの方に校友会活動を知っていただけるよう、尽力していきたいと思っていますのでご協力の程よろしく申し上げます。



藤井 勇也 幹事
(経済学部36期生)

今回、新たに校友会幹事となりました藤井です。これまで校友会の皆様から留学生をはじめ、本学国際交流事業にたくさんのご支援をいただきました。今後は、校友会の縁の下の力持ちとなり、校友会事業に積極的に参加していきたいと思っております。

岡 芳紀さん(経済学部11期生)
 小山株式会社 名古屋支店支店長
 サッカー部OB会会長



クラブ活動を通じて培った精神力が 仕事の推進力に

◎どのような学生生活を過ごされたか?

小学校からずっとサッカーをやっていたのですが、入学した時はサッカー部に入学する気はありませんでした。入学式直後のオリエンテーションで、当時キャプテンだった東野さんにサッカー部のテントに連れて行かれ、『ここに名前を書いて』と言われて書いたら、入学届でした。

あとで聞いた話ですが、当時のサッカー部は部員が8名程しかいなかったため、何としてもリーグ戦に出場するために部員を増やそうとしていたそうです。そのため、事前に入学手続き書類でサッカー経験者をチェックして、入

部させようと思っていたそうです。

積極的な勧誘のおかげで同期の学生がたくさん入部しました。みんな同じ授業・ゼミを受講してサッカーをやっていたので、ほとんど一日中一緒に生活していました。同期メンバーとはとても仲が良く、まとまっています。いまでも親しく付き合っています。

枚方市の実家から通学していたのですが、朝7時頃家を出て電車の乗換が3回、通学時間が2時間弱かかりました。スクールバスを利用できましたが、近鉄服部川駅から大学まで徒歩で友達と話しながら通学しました。歩いて通うのは結構大変でしたが、今となればいい思い出です。

◎学生時代の一番思い出に残っていることは、何ですか?

やはり、サッカー部での活動ですね。サッカーをするために大学に通っていたようなものでしたね。

1年生の頃は人数がギリギリだったので、直ぐに試合に出場できました。本来11人でするスポーツですが、10人や9人で公式戦を戦ったこともあります。2年生になってからスポーツ推薦制度が始まると、サッカー部OB会副会長の中島修治君(校友会高知支部副支部長)など、地方から優秀な後輩がたくさん入ってくるようになりました。

着実に実力をつけていき、4年生の春季リーグで初めて3部で優勝するこ

とができました(当時は秋季リーグの成績で昇格)。関西選手権では、当時2部の京都産業大に敗れ、ベスト16に終わりました。残念ながら、2部昇格が懸かった秋季リーグで優勝を逃し、在学中での2部昇格はできませんでしたが、卒業翌年に念願の2部昇格を果たし、90年代前半には1部にあと少しのところまでいったと聞いています。

当時のサッカー部は今とは違って、上下関係が厳しく、ボールの空気が甘いとか、グラウンド整備(トンボ掛け)が不十分などと、よく叱られましたね。でも、今振り返ってみると、仕事の困難にも立ち向かえる精神力を養うことができたと思います。

また、4年生では主将となり、体育会本部長に就いて、他のクラブをまとめる活動も行いました。

◎卒業後の進路はどうされたのですか?

卒業後は医療・福祉用寝具リースで業界トップの『小山株式会社』に入社しました。

就職活動では別の企業から内定をもらっていましたが、どうも自分にその企業が合っていないと思い、高岡さんに相談したところ、就職課の方から『小山株式会社』を紹介されました。紹介された時には当初の募集定員は既に決まっていたのですが、人事の方から『一人増えてもかまへんわ』と言ってもらい、入社することができました。

初任地は松本で、8年間勤務しました。大阪から出ることがなく、初めての営業活動や一人暮らしが不安でした。しかし、サッカーをやっていたことが縁で、得意先の高校のサッカー部監督に社会人チームを紹介して頂き、加入してもらいました。これをきっかけに、地元の方に可愛がられるようになり、不安だった生活も楽しく過ごせるようになりました。また、妻ともチームメイトの紹介で知り合いました。

松本の後は千葉営業所へ転動しまし

た。たまたま、サッカー部後輩の浜町君が千葉に住んでいたため、転勤一年後にまた一緒にサッカーをさせてもらうことになりました。そのおかげで私生活も充実し、日々の営業活動の活力となりました。その後、名古屋に転勤した際も、後輩の三浦君・大谷君から『一緒にサッカーしましょう』と誘われて、楽しい時間を過ごせました。その後、奈良本社勤務を経て、現在は大阪に家族を残して、単身赴任で名古屋支店に勤務しています。

今思えば、これまで大学時代の仲間本当に助けられたと思うし、サッカーをやっていたおかげで、その土地の方々にすぐに溶け込むことができ、プラス思考で仕事できたかなと思います。現在は、名古屋支店長として東海(静岡・愛知・岐阜・三重)、北陸(富山・石川・福井)エリアの責任者として各営業所の売り上げの管理はもとより、時には主要得意先への訪問や本社での営業会議と忙しい日々を送っております。

◎今年サッカー部OB会長に就任されましたが、どのような経緯があったのでしょうか?

昨年末、現サッカー部監督の藤田さん(キャリア支援課)から、『部員不足で2年ほど活動を休んでいる。また活動を再開するためにOBの力を貸して

ほしい』、『サッカー部OB会を作りたいので、会長になってほしい』と依頼されました。自分の1年生時代を思い出して、何とか応援したいという気持ちで引き受けました。

卒業してからサッカー部のみならず集まる機会があまりなかったため、サッカー部OB相互の近況報告の場として、今年の2月には久しぶりにOB戦を行い、初めてのOB会総会・懇親会を開催しました。当日は、40数名のサッカー部OBに参加して頂き、OB会長として非常に感謝しています。また、連絡がなかったOBの皆様にはこの場を借りましてお詫び申し上げます。

引き続きOBの皆様への学生へのご支援を頂きます様、お願い申し上げます。

来年以降もOB戦とOB会総会・懇親会を行う予定です。是非、連絡のついていないOBの方々には下記までご一報頂ければ幸いです。

- OB会事務局
- 洪田博之事務局長(法学部20期生)
090-5663-6956
- 仲里義克コーチ(法学部32期生・教務課)
090-8356-1719



祖父、祖母、父母から
受け継いだ思いを絶やしたくない

日本三名山「白山」のふもとに広がる白山温泉郷。その奥深く、山あいの中に小さいながらも明るく開けた高原の温泉地がある。それが一里野温泉である。険しい山並み故にあまり平らなところがない。そんな山あいの中で約一里ほどの間が平らな野になっていたことから「一里野」と名付けられた。ここで「一里野高原ホテルろあん」と「岩間山崎旅館」を運営しているのが、山崎太一朗（経済学部18期生）さんである。



山崎 太一朗さん(経済学部18期生)
(有)一里野高原ホテル 代表取締役

現在のホテルから5キロほど離れた山奥に、昔から90度以上の温泉が湧いていました。地域の人々は崖を乗り越えて湯治に行っていたんですね。祖父がそれをなんとか多くの人々が利用できるようにしたいということで、源泉の手前のところまで道をつけました。そして、源泉を木の管に通して旅館(岩間山崎旅館)を始めました。昭和32年、いまから56年前のことです。そこは本当に山深いところで手狭なため、もう少し手前の一里野まで温泉を引いてきたことが、現在の一里野温泉の始まりになりました。

祖父は温泉開発のために尽力して、志半ばで亡くなりましたが、地域住民と石川県が協力して温泉を開発することになりました。現在の一里野高原ホテルがスタートしたのは、昭和52年の

ことです。その後一里野温泉は発展をつづけ、現在は15軒の旅館が営業しています。

現在の一里野温泉があるのは祖父の尽力によるもので、地域発展の礎を築いたといえるかも知れません。いま祖父の生涯について、母が本にまとめている、2か月後には出版される予定です。



現在日本には5万軒ほどの旅館があり、毎年2千軒減少しているという。手

を拱いては淘汰されてしまう。山崎さんはアイデアマンでもある。0泊温泉旅行、囲炉裏を囲んでの食事提供、バス会社と旅行会社の両方の機能を持つ会社の設立など、つぎつぎに新しい企画を打ち出している。

「一里野高原ホテルろあん」は客室30室、収容人数は130名程度で、中規模のホテルです。祖父の開いた岩間山崎旅館が34室で、こちら130名程度の規模です。家族で経営していたのですが、祖母、父、母が亡くなったので、現在は私が両方の経営をするようになりました。

宿泊者数は年間1万人ほどで、近くの加賀温泉などと比べると、旅館の規模としてはそれほど大きくはありません。セールスポイントは古い民家を移設してきて、古民家の囲炉裏で食事ができる、森に囲まれた森林浴も楽しめる露天風呂、源泉かけ流しの温泉です。近くに白山スーパー林道が通っていて、その先に世界遺産の白川郷もあります。

金沢という都会が近くにあるのですが、距離的に近すぎるというので、それじゃ日帰りだったらいいんじゃないかと考えたのが0泊温泉旅行です。温泉に入って浴衣に着替えてもらって、お部屋で休憩してもらおうということなんです。それなりに利用者は増えました。「今日の部屋は明日売れない」と旅館業界でいいますが、部屋の稼働率をどう高めるか常に考えています。

温泉旅館という業界は厳しい環境にあります。勝ち組と負け組がはっきりしてきて過当競争になっています。価格破壊の型破りな旅館ができたりして、客単価もどんどん下がっています。自分が始めた仕事だったらとくにやめているかも知れません。何とかして、祖父、祖母、父母から受け継いだ思いは絶やしたくないという気持ちだけでやっているところがあります。

最近バス会社と旅行会社の両方の機能を持つ会社を立ち上げました。場所が山奥ですからアクセスを自分たちで

解決しようということで、北陸新幹線が1年半後に開通しますので、それに合わせて旅行企画もしたいということです。

大学卒業後、どうしても海外生活がしたくて、アメリカに3年間留学した。将来観光業をするためには海外を経験することが必ず役に立つと親を説得した。これまで英語を使う機会はほとんどなかったが、最近外国人観光客が増えてきて、ようやく時代が山崎さんに追いついてきた。

コロラド州のボルダーに1年半、大都会を経験したくてニューヨークのP ACE大学、ここはマンハッタンの中心に位置する大学ですが、合わせて3年いました。その後東京で4年ほど働いていたんですが、父からどうしても帰ってきてほしいと説得されて戻ってきました。それから13年、本当にわき目も振らずに仕事一筋にやってきました。

いま日本は人口縮小社会になってきていて、観光業界で最近言われているのは、これからは国内のお客様だけを相手にしては駄目だということですね。国が「ビジット・ジャパンキャンペーン」をやっています。実際に金沢を訪れる外国人観光客は増えていますし、私のホテルに宿泊する台湾・韓国からの観光客も増えています。今後はタイ・インドネシアなどの東南アジアからの観光客を誘致しなければならない。東南アジアには雪が降らないので、雪

見観光をアピールしたり、ホームページも英語バージョンや中国語・タイ語バージョンを作ろうと思っています。

昨年インターンシップで在学学生を受け入れている。後輩たちは、自分たちの学生時代と随分違うという印象を持った。母校がだんだん良くなっているのかなと思う。

最近、在学学生が訪ねてきたので、大学時代の思い出話をしました。学生の雰囲気も変わりましたね。いい意味で大学も変わって、よくなってきているなと感じますね。卒業生としては素朴にうれしいですね。

去年からインターンシップで在学学生を受け入れています。今年も8月に10名受け入れる予定です。最近の学生は自分たちの学生時代とは違っているなという印象で、総じて好感を持てる学生が多かったですね。

ホテルの従業員も学生を指導することで刺激を受けたようで、受け入れた側としてもメリットはありました。僕自身も刺激になりましたし、石川支部の校友6、7名に学生への講話をしてもらったんですが、これがよかったですね。社会人としての心構えとか、仕事に対する姿勢とか、僕自身も刺激になりました。

これからも、母校にはますます発展してほしいと思いますし、卒業生としてできることがあれば、協力していきたいと思っています。



インターンシップに参加した学生に講話する山崎さん

教育・研究・地域活動

「大阪経済法科大学と八尾市との包括連携に関する協定書」及び「大阪経済法科大学と八尾市議会との地域連携に関する覚書」を締結

2月14日(木)、八尾駅前キャンパス603講義室において、「大阪経済法科大学と八尾市との包括連携に関する協定書」及び「大阪経済法科大学と八尾市議会との地域連携に関する覚書」の合同調印式が執り行われました。

本学と八尾市との包括連携協定は、「八尾市民大学講座」をはじめとする公開講座、「いきいき八尾環境フェスティバル」などこれまでの様々な分野における連携・協力関係を基に、知的・物的資源の相互活用、人的交流及び地域防災等のさまざまな事項において、連携を積極的に推進し、双方の発展と充実に寄与することを目的としています。

そして、本学と八尾市議会との覚書は、知的資源を集積する本学と、市民を代表して市政の意思決定を行う八尾市議会が連携することにより、地域社会における様々な政策課題への適切な対応と、地域の発展に資することを目的としています。

本学は、この目的の達成に向け、学術研究、大学教育、生涯学習、まちづくり、地域防災、産業・文化の振興等のさまざまな分野において、八尾市及び八尾市議会との一層の連携・協力を進めていきます。



写真左から田中八尾市長、金澤理事長、藤本学長、大松八尾市議会議長



7月10日(水)、法学部専門教育科目・政治学系「21世紀日本の議会と行政」は、田中誠太八尾市長をゲストスピーカーとして招請し、首長の役割と機能をテーマに、地方自治体運営のあり方について特別講義を行いました。

田中誠太市長は、まず自身が市長に当選するまでの地方政治との関わりについて紹介された後、「平成25年度市政運営方針」を資料に、地方自治体運営の現状及び市長としての役割を説明しました。その中で、①行財政改革、②地域分権、③就学前教育の充実という最近の八尾市政の三大取り組みについて、具体的な事例や前年度目標の達成率を挙げて、今後の計画とその推進方法について講義されました。

また、最近、話題になっている八尾空港をオスプレイの訓練場にしようとする動向についても自らの見解を紹介され、参加者から出された質問にも一つ一つ丁寧に回答されました。

田中誠太八尾市長による特別講義を開催

八尾税務署から本学に感謝状が贈呈

6月12日(水)、八尾駅前キャンパスで八尾税務署からの感謝状贈呈式が開催されました。

贈呈式には、本学から藤本和貴学長・山垣真浩経済学部長・山根陽一准教授(簿記実践担当)・中嶋美樹子准教授(財務諸表論担当)が出席し、藤井八尾税務署長より藤本学長に感謝状が贈呈されました。

本感謝状は、本学で毎年開催している「税務講演会(租税教室)」に関して、「租税教育の推進に努め、税務行政の円滑な運営に多大な貢献をした」として、八尾税務署長より贈呈されたものです。



写真左から山垣教授、中嶋准教授、藤本学長、藤井署長、山根准教授

「八尾市民無料法律相談」を八尾駅前キャンパスで開催

2012年11月10日(土)、八尾駅前キャンパスに大阪弁護士会所属の東尚吾弁護士・枝川直美弁護士(山口健一法律事務所)を相談役にお招きし、「大阪経済法科大学八尾市民無料法律相談」を開催しました。

今回の法律相談は、本学学生の法学教育の一環としても行われており、本学の法律相談会に所属する学生が記録係として立ち会い、日頃の授業では得ることのできない貴重な経験をすることができました。

法律相談会のメンバーは、法科大学院進学・司法試験合格をめざす者が多く、相談終了後は事件の内容や回答内容を整理し、相談役の弁護士と一緒に問題点を検討したほか、先生方の学部時代の勉強方法や法科大学院進学後の生活などについてのアドバイスを受けていました。

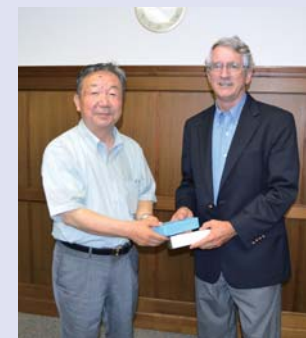


ハワイ大学マノア校 エドワード・J・シュルツ副学長が藤本和貴学長を表敬訪問

6月26日(水)、本学の海外協定校であるハワイ大学マノア校のエドワード・J・シュルツ副学長が本学の藤本和貴学長を表敬訪問しました。

本学とハワイ大学マノア校は1987年の協定締結以来、学生及び研究者交流の両面で幅広く協力し、交流を深めてきました。

シュルツ副学長の本学訪問は、2010年度の入学式以来3年ぶり、藤本学長はじめ本学の友人たちとの旧交を温めると同時に、今後の両大学間の学生及び研究者交流等について、幅広い協議が行われました。



国際交流

7カ国・地域の学生が参加し、第6回国際学生交流セミナーを開催

2012年8月2日(木)～15日(水)の2週間、本学海外提携校との協力のもと、本学と各国・地域の学生が日本・中国・韓国を訪問し、国境を越えて共に学ぶ「国際学生交流セミナー」が開催されました。

6回目の開催となった今年度のセミナーには、本学、復旦大学(中国)、崇実大学(韓国)、ロシア極東連邦大学、台湾大学、モンゴル大学に加え、コロラド大学(アメリカ)を新たに迎え、7カ国・地域の学生たちが参加して行われました。

本セミナーは共通言語を英語としており、本学の学生10名を含む総勢34名の参加者は、ソウル・大阪・上海の順に各国を訪問しながら、セミナーテーマである『東アジア共同体構想について』、国や文化、認識の違いを超え建設的な議論を交わし、大学の授業では決して味わえない充実した時間を過ごしていました。

交換留学生在八尾市内の中学校を訪問し、国際交流会に参加

6月21日(金)、韓国、モンゴル、ベトナム、タイ、ウクライナの5カ国から来た8名の交換留学生在が、八尾市立龍華中学校を訪問し、同校中学生との国際交流を深めました。本学では、一年を通して、地域の小中高校の国際教育と交流活動への支援を行っており、今回の国際交流会もその一環として行われたものです。

同交流会では、最初に中学生たちが日本の遊び、祭り、方言、食べ物などについて発表した後、本学交換留学生在がそれぞれの国の位置や風習、文化などについて発表を行いました。いずれの発表も、自分の国の「良いものを伝えたい」という強い気持ちが伝わる内容で、大変分かり易いものとなりました。

発表後に行われた交流会では、最初は緊張気味だった中学生たちも、発表が終わるころには留学生とすっかり打ち解け、好奇心いっぱいの目で留学生を質問攻めにし、その発言内容に真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。



課外活動(在学生の活躍・OB戦)



「第83回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)」で本学卓球部が入賞!

6月27日(木)～30日(日)の4日間、愛知県の豊田市総合体育館で「第83回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)」が開催され、本学男子卓球部がベスト16、女子卓球部がベスト32に入賞しました。

男子卓球部は、予選リーグで全日本王者が率いる明治大学と対戦し、接戦の末、敗れはしたものの予選リーグを2位で通過し、決勝トーナメント1回戦では、関西王者の立命館大学との接戦を制し、全国ベスト16という好成績を残しました。

また、女子卓球部も大正大学と東北学院大学など強豪がひしめく予選リーグを突破し、ベスト32という成績を残し、同大会を終えることができました。

学生団体と障がい者支援団体がパン・クッキーの学内販売を実施



5月21日(火)、八尾駅前キャンパス2階学生プラザで、社会福祉法人「ゆうとおん」によるパンやクッキーの学内販売が実施され、学生団体の皆さんが販売の運営補助を行いました。

今回の取り組みは、八尾市を拠点に介護事業や障がい者就労支援を行う「ゆうとおん」からの依頼により実現したもので、学友会執行委員会をはじめ体育会・文化会本部の役員たちは、販売開始にあわせて、昼食を取りに来た学生たちに呼びかけて販売コーナーへ誘導したほか、キャンパス前でピラを配るなどして、商品販売をサポートしました。また、販売コーナーに来た学生たちに「ゆうとおん」のパンフレットを手渡すなど、同団体の活動PRもあわせて行いました。

文化会囲碁部が関西学生囲碁春季リーグ戦(1部)で3位入賞

6月15日(土)・16日(日)の2日間、「関西学生囲碁春季リーグ戦(1部)」が大阪府吹田市のアルプス江坂で開催され、本学文化会囲碁部が出場しました。

同リーグ戦1部リーグに所属する大学は、学生本因坊戦、学生名人戦といった全日本学生囲碁連盟主催の各種大会で優勝者を輩出する実力校が揃っており、本学囲碁部はそのような強豪ひしめく中、見事3位入賞という好成績を収めました。

また、今リーグ戦では、嶋津太郎さん(経済学部2年)が5戦全勝という結果(1部リーグの中で5名が全勝)を残し、3位入賞に華を添えました。

最終順位

優勝	立命館大学
2位	大阪大学
3位	大阪経済法科大学
4位	京都大学
5位	関西学院大学
6位	神戸大学



環境活動に取り組む学生グループ「ECO〜る∞KEIHO」がホテル鑑賞会を開催

5月31日(金)・6月1日(土)の2日間、花岡キャンパスで『ホテル鑑賞会』が開催されました。今回の取り組みは、本学で環境活動を行っている学生研究グループ「ECO〜る∞KEIHO」が中心となり行われたもので、2日間で約140名の方々がふれあい池周辺に生息するホテル(ヒメホテル・ゲンジホテル)を楽しみました。



「ECO〜る∞KEIHO」代表 白川雄基さん(法学部3年)
両日とも天候に恵まれ大盛況で終えることができました。ふれあい池周辺を飛び交うホテルも年々増加しているように感じました。私たちはあらゆる生物がすみやすい環境づくりを目指し、今後も活動を続けていきたいです。

2013世界テコンドー選手権大会に日本代表として出場

体育会テコンドー部に所属する三橋佑樹さん(経済学部4年)が、メキシコ・プエブラで開催される2013WTF(World Taekwondo Federation)世界テコンドー選手権大会(7月10日～23日)に、日本代表として出場しました。

三橋さんは、本年2月に開催された第6回日本テコンドー選手権大会などでの成績が評価され、日本代表選手に選考されました。同大会は、世界テコンドー連盟(WTF)が2年に1度開催する、テコンドーの世界一を決める権威ある大会です。

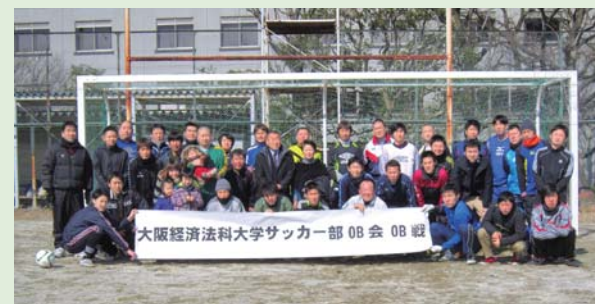
2013年度主な課外活動戦績(体育会クラブ)

クラブ名	大会名	結果
卓球部	関西学生卓球連盟春季リーグ戦(1部)	男子1部4位(4勝3敗) 女子1部6位(2勝5敗)
	関西学生卓球選手権大会	女子シングルス:優勝
テコンドー部	大阪府テコンドー大会	男子組手:優勝(4名) 女子組手:優勝(1名)
空手道部	西日本大学空手道選手権大会	団体戦:ベスト8
硬式野球部	阪神大学野球連盟春季リーグ戦(2部東)	6位(1勝9敗)
	阪神大学野球連盟新人戦	1回戦敗退(対関西外国語大学)
バスケットボール部	関西学生バスケットボール選手権大会	1回戦敗退(対立命館大学)
バレーボール部	関西大学バレーボール春季リーグ戦(4部)	6位(1勝5敗)
柔道部	関西学生柔道優勝大会	団体戦:3回戦敗退(対滋賀大学)
剣道部	関西学生剣道選手権大会	個人戦:1回戦敗退(対関西大学)
弓道部	関西学生弓道選手権大会	団体・個人戦出場
硬式テニス部	関西学生春季テニストーナメント	シングルス:2回戦敗退 ダブルス:2回戦敗退
	関西学生バドミントン春季リーグ戦(6部)	6位(0勝5敗)

花岡キャンパス第一グラウンドで体育会サッカー部OB戦を開催

2月10日(日)、晴れ渡る青空の下、本学花岡キャンパス第一グラウンドで、体育会サッカー部のOBたちが集結し、OB戦が開催されました。当日は、20分×4本の試合形式で行われ、参加した40名を超える校友

たちは、久しぶりの激しい運動に息を切らしながらもグラウンドを一生懸命に走り回っていました。また、応援に駆けつけた家族からも温かい声援と拍手が送られ、参加した校友たちのうれさそうな顔がとても印象的でした。



OB戦

OB戦



総合体育館「尚淑館」で体育会バスケットボール部OB戦を開催

2012年12月15日(土)、本学総合体育館「尚淑館」で、毎年恒例となった体育会バスケットボール部のOB戦が開催されました。

今回のOB戦には、12期生から20期生の校友約20数名が参加。2チームに分かれて白熱したゲームが行われ、学生時代を彷彿させる好プレー・珍プレーが続出していました。また当日の試合は、現役学生が補助を行うなど、校友と在学生の交流を深める機会にもなりました。

OB戦終了後は、場所を移して懇親会が開催され、学生時代の思い出話や在学生との会話で盛り上がり、相互の親睦を深める有意義な時間となりました。

体育会バスケットボール部所属 大城勇太選手(法学部3年)

この取り組みは毎年恒例で行われているもので、今回はフリースロー大会に参加させていただきました。今年はバスケットボール社会人リーグ戦の日程の関係もあり、本学バスケットボール部全盛期時代の40代の先輩方を中心に多くの方々が集まってくれたので、パス回しやチームワークが良く、とても参考になりました。

た。

OB戦終了後は、場所を大阪市内に移し懇親会が盛大に開催され、学生時代に一緒に汗を流した仲間との思い出話を花を咲かせ、楽しい時間を過ごしていました。

仲里義克さん(法学部32期生)

数年ぶりの開催ということもあって、参加者を確保できるか不安もありましたが、43名ものOBが参加してくださり、先輩と後輩の関係は何年経っても変わるものではないということを実感する共に、就職や結婚を経て、成長している姿を見ることができ、大変うれしく思います。今後も継続して開催し、より多くのOBに参加していただけるよう、先輩と後輩の輪を広げる活動を行いたいと思います。

支部活動報告(支部長メッセージ)

広島支部(会員数999人)
 栢田 博昭 支部長(3期生)

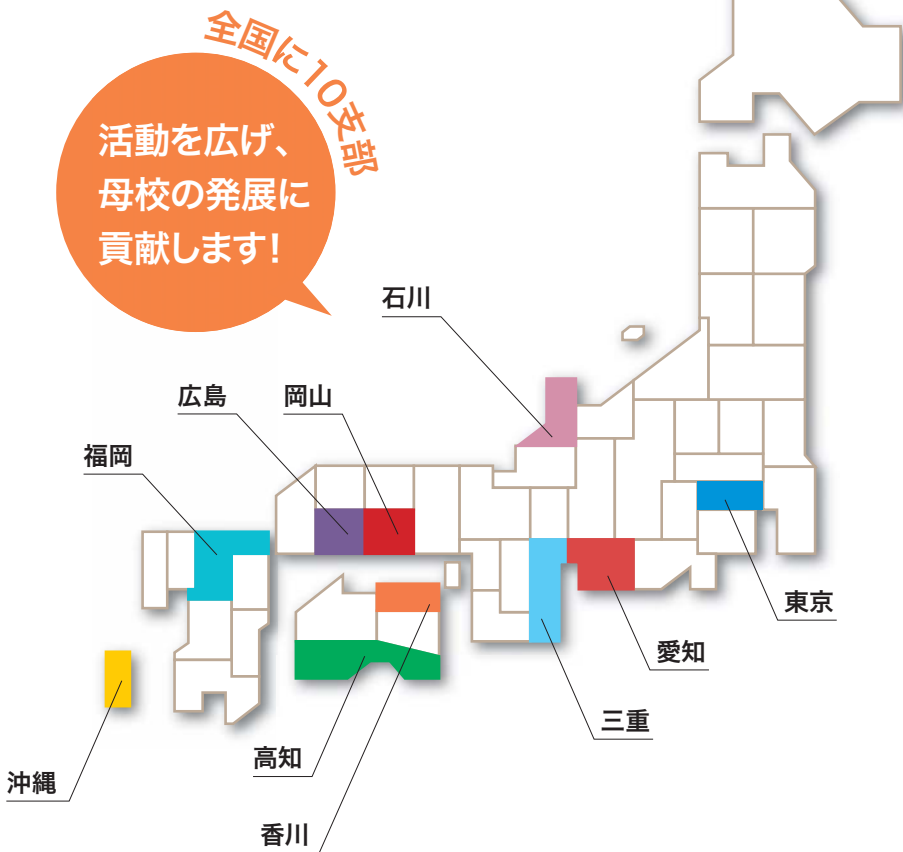


広島支部は、1999年10月に設立以来、来年は節目となる15年を迎えることとなりました。
 支部活動としては、これまで年1回の支部総会によって、大学の変遷や各自の近況報告等を起点として和気藹々とやってまいりました。
 最近、県東部や北部等遠方からも参加いただき、年齢層も20代から50代まで幅広くっており、次代へのつながりや今後の支部活動に大いに期待しております。広島県に在住されている方や広島県出身の校友(卒業生)の皆様におかれましては、支部総会をはじめとする各行事に是非足をお運びください。

岡山支部(会員数728人)
 樋上 有司 支部長(4期生)



岡山支部は、在学生の就職支援について直接的又は間接的な働きかけで、より多くの在学生が将来、希望をもって社会の一員となり、社会に貢献できるよう、卒業生間での異業種交流等を活発に展開し、在学生の就職先のすそ野を広げていきたいと思っています。
 また、各業界で活躍する既卒者や在学生の止まり木的な休息の存在として、より校友間の交流を深めていきたいと考えております。岡山支部では、さらなる交流を深めるため、昨年より校友会岡山支部でfacebookを運用しています。興味がある方は、是非アクセスをお願いします。



石川支部(会員数934人)
 山下 浩希 支部長(10期生)



石川支部は、校友相互の親睦を深めることを第一の目的に支部総会、全国総会、経法祭にも積極的に参加しています。
 今年も7月20日(土)に金沢で支部総会を開催しました。また、近年は交流親睦行事だけでなく「母校に何か出来ないか」と考え、経済学部高砂准教授のBLP(ビジネスリーダープログラム)特別演習受講生のインターンシップを校友が経営する企業で受け入れ、夜には『OB講話』と称して校友が日替わりで「シゴト」をテーマに話をし、大変好評を得ました。石川支部は、今後も支部活動を通して会員相互の親睦を深め、母校の発展に少しでも役立ちたいと願っております。

東京支部(会員数439人)
 宮松 久浩 支部長(9期生)



東京支部は、南関東(東京、神奈川、埼玉、千葉)地区の広域に在住されている方々から構成されており、東京都内に在住又は勤務されている方だけではなく、近郊に在住、勤務されている方も会員となります。
 毎年4月の第3金曜日、午後7時から東京麻布台セミナーハウスにて、一期生から卒業間もない会員が多数集結し、東京支部総会を開催しています。開催日時は、毎年固定されていますので、是非年間のスケジュールに入れておいてください。懐かしい大学時代の思い出話や異業種間での情報交換など、有意義な時間を過ごすことができると思います。

沖縄支部(会員数157名)
 新里 靖 支部長(14期生)



沖縄支部は、1999年設立以降、沖縄県出身の卒業生を中心に、ボランティア活動や校友、在校生との交流などを目的に支部活動を展開しています。
 今年は、6月に県出身の在校生との就職相談会(那覇市)を開催し、有意義な情報提供ができました。また、7月28日(日)には、会員相互の交流を目的に北谷町アラハビーチで夏のビーチパーティーを開催し、参加した家族や友人たちとバーベキューやビーチバレーなどを楽しみました。今後は、9月に父母懇談会(那覇市)への参加・協力、10月に沖縄支部総会を予定していますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

福岡支部(会員数502人)
 澁田 博之 支部担当者(20期生)



福岡支部は、昨年11月23日(金)に11年ぶりに支部総会を開催し、一人でも多くの校友との交流・親睦を深めることを目的に、対象地域を北部九州(福岡・大分・佐賀・長崎・熊本県)に拡大しました。
 先日7月27日(土)に、第3回支部総会を開催したところ、世代を越えた校友が多数集まり、大学時代の思い出話や会員相互の近況報告など、楽しい一時を過ごしました。また、SNSでも新規校友勧誘を進めており、今後はYouTubeやfacebookなどに懇親会の動画を掲載し、支部総会への参加を促していきたいと思っています。

高知支部(会員数500人)
 小橋 光生 支部長(1期生)



高知支部は、毎年、6月の第4土曜日に支部総会を開催しています。今年も、6月22日(土)に第10回高知支部総会を開催し、本年度の活動方針等について確認するとともに、新会員(OG等)の参加もあり、会は大変活気づきました。
 また今年も、例年9月に開催されている父母懇談会への協力や情報交換の場として、忘年会又は新年会の開催、校友会総会及び経法祭への参加を予定しています。
 今後多く多くの会員に各種行事に参加していただき、校友間での情報・認識共有を図り、よりよい支部運営に努めていく所存です。

香川支部(会員数504人)
 石塚 央 支部長(6期生)



香川支部の活動としては、校友会総会や経法祭への参加、香川県内で行われる合宿やクラブ活動に対する支援等を行っています。
 支部総会は、毎年2月から3月にかけて開催しており、昨年度の総会においては、高知支部・愛知支部の方々や在学生も参加し、支部会員の協力等により盛大に開催することができました。
 香川支部はまだまだ、活発に活動しているとは言えませんが、これからも、より多くの卒業生に参加していただけるよう、香川支部を発展・成長させていきたいと思っています。

三重支部(会員数699人)
 中須 秀治 支部長(1期生)



三重支部は、今年設立6年目を迎え、4月20日(土)に第6回三重支部総会を開催しました。現在、三重支部の役員は支部長を含め9名ですが、各役員が役割を分担し校友会活動に取り組んでいます。
 今年の支部活動計画は、①支部活動の積極的な展開、②校友会行事への積極的な参加、③愛知支部との連携体制の構築の3つを掲げ、特に今年は愛知支部との連携体制を強化し、支部活動や校友会行事への共同参加など、活動の場を広げて取り組んでいきます。
 今後も三重支部へのご支援ご協力の程よろしく申し上げます。

愛知支部(会員数814人)
 岸 泰至 支部長(12期生)



愛知支部は、毎年、支部総会・懇親会、忘年会又は新年会を開催しています。今年も6月29日(土)に支部総会・懇親会を開催しました。支部総会では、母校の近況報告や2年後の第10回支部総会を記念事業として何か行いたいなど、活発な意見交換が行われました。
 今年度の活動としては、校友会総会・懇親会、経法祭への参加、忘年会等の開催を予定しています。支部役員はじめ、一人でも多くの校友と集うために愛知県在住・出身の方々からの忌憚のない意見と在校生から卒業生まで参加者全員が楽しめる魅力ある愛知支部をめざしてまいります。

2013年度事業計画・2012年度事業報告

■2013年度大阪経済法科大学校友会事業計画

1 第15回校友会総会・懇親会

大阪経済法科大学校友会会則に基づき、会員相互の親睦と連携を深めるとともに、校友会事業及び教育研究活動をはじめ、大学の諸活動に対する理解・認識を深める契機とする。

◇開催日 2013年10月5日(土)

◇会場 シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」



2 幹事会・常任幹事会

①幹事会の定例開催

第1回

決算審議、校友会総会実施計画審議、全国支部長会議の審議内容、校友会報内容確認

第2回

学生生活活動支援企画審議、経法祭支援詳細計画審議

第3回

次年度事業計画(案)・予算(案)審議

②常任幹事会の開催

校友会事業の円滑な運営のため常任幹事会を適宜開催する。

3 支部活動支援

①支部総会の開催

各支部の活動状況に合わせて、適宜支部総会を開催する。各支部総会へ本部役員、大学教職員及び近隣支部からの参加を促進する。

②支部活動援助費の交付

各支部に年間4万円を交付する。

③全国支部長会議の開催

第15回校友会総会・懇親会当日(10月5日)に全国支部長会議を開催し、各支部における取り組みや今後の活動のあり方について協議する。

4 会報・広報の充実

①校友会報第18号の発行

校友会の各種事業を適切に広報し、メディアを通じた会員相互の親睦と交流を深める契機とする。校友会と校友とのコミュニケーションツールとして内容の充実を図る。

②ホームページ・学内掲示板の有効活用

各種行事予定・活動報告・各地方支部の情報などを定期的に更新し、校友に新しい情報を提供する。学内掲示板(花岡キャンパス、八尾駅前キャンパス)を有効に活用し、校友会情報を適宜発信する。

5 学生生活活動支援

在学生支援を充実させることで大学生活を応援するとともに、校友会の存在意義を伝え、卒業後の校友会事業への参画意識の醸成を図る。

①学生生活活動援助企画の実施

在学生から申請のあった各種行事等への支援を実施する。

②経法祭参加企画の実施

ホームカミングデーとして位置づけ、多くの校友が参加できる企画を実施する。



③卒業祝賀企画の実施

卒業生に卒業記念品として校友会ネーム入り学位記カバーを贈呈する。卒業生祝賀実行委員会が実施する企画への支援を実施する。

6 その他

①東日本大震災被災校友復興支援

総会・懇親会及び経法祭開催時に義援金を呼びかけ、継続して募金活動を実施する(募金活動は複数年間行い、一定の金額が集計できた段階で公的団体に送金)

②校友会における日常業務の円滑な遂行

■2013年度校友会収支予算書

(2013年4月1日から2014年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	項目	2012年度 予算額	2013年度 予算額	差異
収入の部	1. 校友会費			
	準会員	9,675,000	10,055,000	380,000
	正会員	500,000	400,000	△ 100,000
	特別会員	100,000	100,000	0
	2. 総会・懇親会参加費	300,000	500,000	200,000
	3. 収益事業	100,000	100,000	0
4. 受取利息	900	500	△ 400	
5. その他収入	50,000	50,000	0	
小計	10,725,900	11,205,500	479,600	
前年度繰越金	9,332,715	8,198,615	△ 1,134,100	
収入の部合計	20,058,615	19,404,115	△ 654,500	
支出の部	1. 総会			
	総会等運営費	1,500,000	2,000,000	500,000
	印刷製本費	80,000	80,000	0
	旅費交通費	600,000	700,000	100,000
	通信費	50,000	50,000	0
	2. 幹事会			
	会議費	500,000	400,000	△ 100,000
	旅費交通費	700,000	700,000	0
	部会活動費	100,000	100,000	0
	3. 支部活動等支援			
	会議費	500,000	500,000	0
	旅費交通費	600,000	700,000	100,000
	活動援助費	400,000	800,000	400,000
	支部設立準備費	50,000	50,000	0
	父母懇談会協力費	100,000	0	△ 100,000
	4. 会報・広報			
	印刷製本費	960,000	960,000	0
	通信費	1,500,000	1,600,000	100,000
	報酬委託手数料	300,000	300,000	0
	5. 学生支援			
	卒業記念品費	500,000	500,000	0
卒業祝賀企画費	400,000	400,000	0	
経法祭支援費	720,000	720,000	0	
学生生活活動援助費	500,000	500,000	0	
6. 共通・事務費				
印刷製本費	30,000	30,000	0	
消耗品費	80,000	80,000	0	
通信費	450,000	450,000	0	
報酬委託手数料	10,000	10,000	0	
人件費	1,000,000	600,000	△ 400,000	
渉外費	20,000	20,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
7. 周年事業				
8. その他支出				
東日本大震災被災校友支援積立金	150,000	150,000	0	
9. 予備費	50,000	50,000	0	
小計	11,860,000	12,460,000	600,000	
次年度繰越金	8,198,615	6,944,115	△ 1,254,500	
支出の部合計	20,058,615	19,404,115	△ 654,500	

■2012年度校友会収支決算書

(2012年4月1日から2013年3月31日まで) (単位:円)

収入の部	項目	予算額	執行額	差異	備考
収入の部	1. 校友会費				
	準会員	9,675,000	9,447,500	227,500	
	正会員	500,000	400,000	100,000	
	特別会員	100,000	0	100,000	
	2. 総会・懇親会参加費	300,000	264,000	36,000	88名×3,000円
	3. 収益事業	100,000	64,000	36,000	東日本大震災被災校友支援金(経法祭売上げ)
4. 受取利息	900	797	103		
5. その他収入	50,000	0	50,000		
小計	10,725,900	10,176,297	549,603		
前年度繰越金	9,332,715	11,239,640	△ 1,906,925		
収入の部合計	20,058,615	21,415,937	△ 1,357,322		
支出の部	1. 総会				
	総会等運営費	1,500,000	1,039,030	460,970	総会・懇親会開催費
	印刷製本費	80,000	84,000	△ 4,000	総会案内状印刷費(往復はがき)
	旅費交通費	600,000	651,640	△ 51,640	支部役員等出席旅費
	通信費	50,000	52,500	△ 2,500	総会案内状発送費
	2. 幹事会				
	会議費	500,000	179,134	320,866	幹事会、常任幹事会
	旅費交通費	700,000	436,400	263,600	支部役員等幹事会出席旅費
	部会活動費	100,000	0	100,000	
	3. 支部活動等支援				
	会議費	500,000	572,728	△ 72,728	支部総会開催費等
	旅費交通費	600,000	580,540	19,460	支部総会出席旅費等
	活動援助費	400,000	358,400	41,600	支部運営・企画補助
	支部設立準備費	50,000	0	50,000	支部地域支援
	父母懇談会協力費	100,000	0	100,000	
	4. 会報・広報				
	印刷製本費	960,000	696,150	263,850	校友会報印刷費
	通信費	1,500,000	1,677,247	△ 177,247	校友会報発送費
	報酬委託手数料	300,000	401,068	△ 101,068	校友会報発送代行費
	5. 学生支援				
	卒業記念品費	500,000	459,250	40,750	学位記カバー贈呈
卒業祝賀企画費	400,000	400,000	0	祝賀祭弁当代	
経法祭支援費	720,000	700,186	19,814	参加企画、実行委員会援助	
学生生活活動援助費	500,000	300,000	200,000	異文化交流行事活動援助	
6. 共通・事務費					
印刷製本費	30,000	46,200	△ 16,200	ハガキ等	
消耗品費	80,000	57,540	22,460	事務用品等	
通信費	450,000	401,842	48,158	支部活動通信費、電話料金等	
報酬委託手数料	10,000	3,580	6,420	振込手数料等	
人件費	1,000,000	0	1,000,000		
渉外費	20,000	0	20,000		
雑費	10,000	20,382	△ 10,382	保険料等	
7. 周年事業					
8. その他支出					
東日本大震災被災校友支援積立金	150,000	0	150,000	東日本大震災被災校友支援金(経法祭売上げ)	
9. 予備費	50,000	28,500	21,500		
小計	11,860,000	9,146,317	2,713,683		
次年度繰越金	8,198,615	12,269,620	△ 4,071,005		
支出の部合計	20,058,615	21,415,937	1,357,322		

■2012年度大阪経済法科大学事業実施結果

開催日	行事
4月 3日(火)	2012年度第42回入学式
4月20日(金)	第6回東京支部総会・懇親会
4月21日(土)	第5回三重支部総会・懇親会
6月23日(土)	第9回高知支部総会・懇親会
6月23日(土)	第7回愛知支部総会・懇親会
6月30日(土)	第1回常任幹事会
7月21日(土)	第1回2012年度総会・懇親会実行委員会
8月 4日(土)	第1回幹事会
8月31日(金)	第2回2012年度総会・懇親会実行委員会
9月15日(土)	第11回岡山支部総会・懇親会
9月16日(日)	父母懇談会懇親会支援(広島)
9月16日(日)	父母懇談会懇親会支援(高知)
9月22日(土)	第10回石川支部総会・懇親会
9月22日(土)	父母懇談会懇親会支援(岡山)
9月22日(土)	父母懇談会懇親会支援(那覇)
9月23日(日)	父母懇談会懇親会支援(高松)
9月23日(日)	父母懇談会懇親会支援(金沢)
9月29日(土)	第3回2012年度総会・懇親会実行委員会
10月 5日(金)	校友会報第17号発行
10月13日(土)	第2回常任幹事会
10月20日(土)	第12回沖縄支部総会・懇親会
10月27日(土)	第4回2012年度総会・懇親会実行委員会
11月 8日(木)	第9回広島支部総会・懇親会
11月10日(土)	第41回経法祭支援事業(1日目)
11月10日(土)	第14回校友会総会・懇親会
11月11日(日)	第41回経法祭支援事業(2日目)
11月23日(祝・金)	第2回福岡支部総会・懇親会
1月 5日(土)~	異文化交流行事(学生生活活動援助費)
2月23日(土)	第13回香川支部総会・懇親会
3月 9日(土)	第3回常任幹事会
3月18日(月)	2012年度第39回卒業式
3月23日(土)	卒業記念品(学位記カバー)
	第2回幹事会